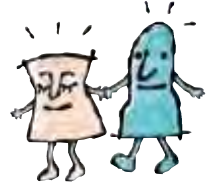


THE ライフルスポーツ RIFLE SPORTS

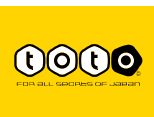
2021 **2**
第447号



- 東アジアユースエアガンオンライン大会
- 日本代表コーチからの寄稿 (エミールコーチ)
- 2021 年度事業計画



スポーツくら





つなげています スポーツへの想い

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。

スポーツくじ  

ライフルスポーツ THE RIFLE SPORTS

巻頭言

監事 石崎 和男

コロナ感染が続く中で我々が出来る事は、「感染しない・させない」その為に社会の基本的なルール（手洗い、マスク、3密回避等）を守ること、アフターコロナも見据え新たな生活様式を早く見つけ、それに順応していくことだと思います。一部の国のように権力からの強制ではなく、皆が道徳観を持ち自発的にルール守る社会は健全で居心地が良いです。公益社団法人である当協会は、競技ルールのみならず、皆が自由闊達に意見を出し合って運営ルールを定め、それに従い、透明性の高い組織運営を日々行っています。監事の私も微力ながらその一役を担っております。ところで、あまり馴染みがないと思いますが、「監事」の役割をご存じですか？法律にもありますが、協会の保有財産及び理事の業務執行状況を監査する役職で、具体的には、協会が法令、定款、規則を守って健全に運営されているかをチェックする役割です。協会が透明性、公平性、合理性、健全性、危機管理等を担保できるよう、客観的視野・独立的な立場で運営をサポートしています。理事会にも出席し、必要に応じて意見も述べます。

競技人口が少ないスポーツ団体の財政基盤は脆弱であり、五輪後には生き残れない団体も出てくるのではないかと危惧する声がよく聞かれます。協会は、国が定めたスポーツ団体の運営指針「ガバナンスコード」を協会の持続可能な成長の為のガイドラインと前向きに捉え、現在、松丸会長のリーダーシップの下、盤石な経営基盤づくりの為、色々な改革に取り組んでいます。加盟団体はじめ全てのステイクホルダー皆様にはこの点を是非ご理解頂き、一丸となり射撃界の更なる発展にご協力をお願いしたいと存じます。



今月の表紙
昨年12月11日に行われた東アジアユースエアガンオンライン大会。協会主催大会としては初めて皇室にご視察頂いた。
左から松丸日朗会長、協会名誉総裁の高円宮妃殿下、山下JOC会長、永谷日朗事務理事。

目次

東アジアユースエアガン オンライン大会の意義……………	2
2020 東アジアユースエアガン大会報告 ……	4
ピストル日本代表コーチ エミール・ドウシャノフ氏より寄稿（5）…	12
2021年度事業計画 ……………	15

2020 東アジアユースエアガン大会（オンライン）
2020 第一回アジア選手権オンライン大会
ライフル（10m）・ピストル（10m）ナショナルチーム選考記録会③
ライフル（10m）・ピストル（10m）ナショナルチーム選考記録会④
ピストル（25m）ナショナルチーム選考記録会④
東京2020オリンピック選手指定記録会
（10m ライフル・10m ピストル）
東京2020オリンピック選手指定記録会（25m ピストル）

東アジアユースエアガン オンライン大会の意義

会長 松丸喜一郎

高等学校全国オンライン大会の経験を活かし、東アジアユースエアガン大会は本選からファインナル、表彰まで一連の進行を東京の本部からオンラインで指示する方式で実施した。大きなトラブルもなく成功裏に開催できたことを改めて関係者の皆様に感謝申し上げる。大会の詳細は溝部競技運営委員長の報告記事に譲り、本稿では大会の4つの意義について記したい。



1. 高円宮妃久子名誉総裁のご視察

名誉総裁であられる高円宮妃久子殿下と山下 JOC 会長が本大会をご視察された。国体以外で皇族が射撃競技のご視察をされたことは初めてである。また、オリンピック大会以外で JOC 会長が射撃競技の視察をされたのも初めてのこととなる。オンライン国際競技会という協会の新たな試みをご視察賜れたことは、協会史に残る誉れとして意義は大きい。

2. 国際交流の活発化

モニターに映し出される海外選手が東京からの号令に従って競技をする姿を目の当たりにして、このインパクトは計り知れないと感じた。銃と弾薬の輸出入許可申請に始まり、外国の銃砲規制の承認を取り、宿泊渡航経費を掛け、最低でも一週間は必要とされた国際競技大会への参加が、日々の練習と同じ手軽さで可能となったのである。夢のようだが毎月交流試合をすることも、協会主催大会に海外勢がオープン参加することもできる。トップ選手に限られていた海外選手との

交流が多く、選手にも広げられるし、NT 選手は常に海外勢と競いあう高いレベルの環境に身を置くことができる。

オンラインの活用は射撃スポーツの国際化を一気に加速させるだろう。我々も海外選手の国内 GI 競技会への参加や、小中学生、高校生、大学生、シニア等、カテゴリー毎の交流競技会の開催を来年度から検討したい。

3. ジャパンモデルと財政基盤の確立

オンライン競技会の一連の進行（本選、ファイナル、表彰セレモニー）を、本部で一括運営する方式はまだ日本だけしか実施していない。それだけでも世界に先行していると自負したいが、更に工夫をしているのがモニターに映し出される映像である。特にファイナル映像は単に選手の後姿を映すのではなく、選手の表情、照準軌跡と着弾点、リアルタイムに入れ替わる順位をタイミングよく差し替えて映し出すもので、プロの司会者による盛り上げと相まってエンターテインメント性の高い映像に仕上がっている。更に工夫を重ねてジャパンモデルとして確立したい。

「する、観る、支える」のスポーツ 3 要素の内、観る人、支えてくれる人、を増やすには射撃競技を面白いと感じてもらうことが必要だ。射撃場の狭いスペースで選手の後姿だけしか観ることができなかった射撃競技はファンの拡大に限界があった。しかしオンラインによるエンターテインメント性の高い映像は SNS 等によって全世界に発信ができる。世界の人々が観戦できるようになりファンを増やす可能性は飛躍的に高まることが期待できる。

協会財政基盤は国からの支援に頼ることなく自主財源により確立すべきだ。その自主財源は射撃競技を応援しようとする人々や企業からの支援によるのが王道だろう。協会のパートナーが B2B（協会 to 政/官）だけでなく B2C（協会 to 民間）にも拡大していけるチャンスをオンライン射撃競技は与えてくれたと考えている。

4. ASC、ISSF と共に

スポーツはアスリートだけのものではなく、ファンに支えられるものでなければならないと IOC は考えている。日本で言う「する、観る、支える」と同じ考え方だ。言い換えればファンの多い競技はオリンピック種目として残し、ファンの少ない競技は将来が無いということである。観客の少ない精密射撃競技の実情はどの国も同じでありファンを増やす必要性は世界射撃界の共通課題だ。観て楽しい射撃種目を開発しあらゆる媒体を通して魅力を発信していくことが求められる。東京大会はサーフィン、スケートボードが採用された。パリ大会ではブレイクダンスが採用される。若者のファンが少ない競技はオリンピックから外される、射撃競技がその瀬戸際に立っているという危機感を ASC、ISSF と共有していきたい。

2020 東アジアユースエアガン大会報告

競技運営委員長 溝部政司

12月10日～12日の3日間、東アジアユースエアガン大会が開催されたので報告する。

今年の主催国は日本の順番で、毎年高校の夏休み期間中に行われていた本大会であるが、今年度は東京2020開催が予定されていたため、年初から12月開催で各参加国の了承を得てこの時期の開催となった。コロナ感染拡大の影響で、海外からの入国が自由でないことから、各国にリモートでの実施を呼びかけ、またリモートということもあり他の東アジア諸国にも参加を呼び掛けるという案を従来の参加国である韓国、シンガポールに提案して了承を得たので、中国、モンゴル、台湾にも参加を募り、結果として中国が参加し、日本、韓国、シンガポール、中国の4か国対抗戦という形になった。

種目はエアライフル男女2種目、エアピストル男女2種目計4種目で、1種目各国3名の個人戦と3名の個人戦合計点数で争う団体戦である。

リモートの大会本部は、協会事務局があるオリンピックスクエアビルの14階会議室に設置された。この会場は、8月の高校生のリモートファイナルを実施した会場と同じで、壁一面に大きなディスプレイがある広い会場である。

12月10日は、オープニングセレモニーとテクニカルミーティングが行われた。各国から Zoom で送られてくる画面では、選手・役員が一堂に集まっている様子がうかがえた。

各国椅子に座って参加していたが、中国は密に座っていたり、韓国、シンガポールは椅子の間に空けていたり、各国のコロナ対策への意識の違いが垣間見えた。シンガポールは射座の間にプラスチックの間仕切りを設けるなど徹底ぶりがうかがえた。

オープニングセレモニーでは、開会にあたり松丸会長から開会メッセージが英語で述べられ、コロナ禍でもリモートという形で初の国際試合が行われることについて、参加国への感謝が述べられた。

その後、参加国の代表者からの挨拶とメッセージの紹介があり、日本選手の佐藤琳選手（APW）と松島朔矢選手（AR）による英語での選手宣誓が行われ、各国選手団の紹介で開会式は終了し、そのまま役員は残ってテクニカルミーティングに入った。テクニカルミーティングでは、ルールの確認、役員の確認、成績データの送り方や、選手・電子標的の画面設定などについて細かな指示が行われた。その後、各国会場で試合前練習（PET：Pre Event Training）が行われこの日は終了した。

翌11日は10：00からエアライフル男女の試合が行われた。本選60発は各国男女一斉に開始して記録を日本に送り、日本の本部では、送られて来たデータを男女別に SIUS のランクシステムに手入力して、男女別々に順位を即座に表示する方式で試合を運営した。

点数データは、WhatsApp もしくは WeChat



オープニングセレモニー（協会事務局内）

という LINE と同様の SNS を使ったやり取りで行った。試合開始前には通信状態が悪くデータがうまく来ないのではないかとという危機があったが、ほぼ問題なくデータの受け取りができた。一方で、一度に4か国24名の選手のデータを手入力するので、役員の鈴木慎平さん、深澤佑樹さんは大変忙しかったし、入力ミスが許されないので大変なプレッシャーの中で作業していただいた。

本選が終了すると、すぐに男女各8名のファイナリストの発表を行い、先に男子エアライフルのファイナルを行うスケジュールである。本選終了が11:15、ファイナルのレポータータイム（選手集合時間）が11:45と国際試合のスケジュール通りに予定が組まれており、時間的余裕がない中、何とかファイナル準備を整えた。我々競技会本部運営役員にとっては、この時間との闘いもそうであったが、11日はNHK TVを含むマスコミの取材、そして名誉総裁である高円宮妃殿下並びにJOCの山下会長もファイナルからご視察になるということで、ミスが許されないというプレッシャーがなお一層高まった競技会となった。

ファイナルは、リモート大会でいつもお願いしているDJの竹本タクシーさんにアナウンサーをお願いし、射場長は岡田亜美さんでスタートした。竹本さんの英語でのアナウンスは、いつもの日本語でのアナウンスと同様に緊張感や高揚感を高めてくれて大いに盛り上がった試合となった。

男子エアライフルのファイナル進出点数は615.5点で、9位の松島朔矢選手（岐阜県大垣日大高校）はわずか2点及ばなかった。残念ながら日本選手はファイナルに進出できなかったが、韓国3名、シンガポール2名、中国3名の選手が進出し、1位から3位を中国が独占した。本選トッ



運営役員



DJの竹本タクシーさん



男子 AR ファイナル



男子 AR 団体表彰式



男子 AR 個人表彰式
表彰状をお持ちになる高円宮妃久子殿下

プの中国の Sheng 選手の本選得点は629.4点であった。

ファイナルが終了すると、すぐに1位～3位の個人、団体の表彰を行った。表彰は当初松丸会長が賞状の授与をされる予定であったが、急速高円宮妃殿下がなさるということになり、竹本タクシーさんが妃殿下をどのように英語で紹介したら良いかわからないと申し上げたところ、妃殿下自ら英語での呼び方をエア標的の裏に書いてくださった。（この標的は竹本さんの宝物として大切に保存されている。）

続く女子エアライフルのファイナルは、ファイナル通過点数が623.0点で、トップのシンガポール Tan 選手の得点は630.7点、2位中国 Yan 選手は629.1点と男子よりもハイレベルだった。そんな中、日本の野畑美咲選手（大分県由布高校）が624.0点6位でファイナルに進出した。ファイナルは、日本1名、韓国3名、シンガポール2名、中国2名で争うこととなった。

た。ファイナルでは、5発2シリーズの第一ステージで、野畑選手は105.5点と本選トップ通過の Tan 選手の105.3点を凌ぐ点でトップに立ち、単発の第二ステージの11発目10.9、12発目10.8と好調を維持していたが、次の13発14発目から点数を意識したのか9点台を撃ち、その後深い10点が取れないまま4位に終わった。一時は3位内入賞かと期待したが惜しい結果であった。まだ高校2年生なのでこの経験をもとに、より一層飛躍して欲しいと願う。最終的に1位は本選1位シンガポール Tan 選手の252.7点（これは日本選手成人男子の日本記録を超える点数であった）、2位3位に中国選手が入った。

女子エアライフルのファイナルの表彰式も男子同様に行われ、第1日目の競技会が終了した。

翌日12日は、マスコミ取材や来賓の視察が無いためリモート本部をスクエアビル6階の協会総務室内に設けて実施した。競技は男女のエアピストル競技が実施された。男子エアピストルのファイナル進出点数は560点で、センター数差で560点7位に入った小柳勇生選手（福岡県太宰府高校）がファイナルに進出した。本選のトップは中国の LIU 選手の578点、2位も578点の中国 FENG 選手とレベルの高い射撃が目立った。ファイナルは日本〔溝部1〕1名、韓国3名、シンガポール1名、中国3名によって争うこととなった。ファイナルでは、中国の LIU 選手が245.2点を撃って優勝した。この点数は松田選手の持つ日本記録242.8点を凌ぐ高得点であった。2位に韓国 KIM 選手、3位に中国 YANG 選手が入った。小柳選手は健闘したが7位で終了した。この種目の日本選手3名団体メンバー、小柳選手、松田健太郎選手（埼玉県国際学院高校）、吉村和徳選手（岐阜県済美高校）の撃った1670点は、ジュニア団体の日本新記録であった。

続く女子ピストルのファイナル進出点は554点で、559点を撃った小西伶奈選手（埼玉県国際学院高校）が7位でファイナルに進んだ。JOC エリートアカデミー生の佐藤琳選手（東京都成



マスコミから取材を受ける野畑選手（大分県由布高校）

立高校）は2点差の552点9位でファイナル進出ならなかった。本選トップは韓国LEE選手の574点であった。

ファイナルの結果、1位～3位を中国選手が独占した。1位のSHEN選手の得点は240.7点であった。小西選手は、5発シリーズ2回の第一ステージ終了時は全体の2位であったが、単発の第2ステージで思うように10点が入らず、中国勢の巻き返しもあって5位となった。彼女も女子ライフルの野畑選手と同様にまだ高校2年生であり、この経験を糧にしてより一層の飛躍を期待したい。

2日間の競技を全て終えて、各競技の表彰式を終了し、松丸会長から閉会の挨拶があった。今大会は、観客にとっても射撃競技が見て楽しめるようにと、日本から呼びかけをして、可能であれば選手の銃にスキャットを取り付けてスキャットの軌跡が見えるように映像を送って欲しいと呼びかけ、結果的には日本とシンガポールの選手についてはスキャットの軌跡を見せながらYouTube配信を行った。松丸会長はこのことにも触れられて、今後射撃が、観客が見て分かりやすく面白い演出をしていくことの重要性や、コロナ禍で集合して競技会を開催することが困難な情勢の中、このようなリモート開催での国をまたがる競技会をもっと開催していきたいと述べられ、閉会となった。

主催者として今回の大会を開催して感じたことは、銃の輸出入の煩雑な手続きや保管の手間が大変な日本の法律に縛られることがなく、また、競技会場と宿舎間の選手団の移動の手配や食事の手配などの問題もなく、比較的簡便に国際競技会が開催できるリモート大会のメリットを再確認できたことが大きい。

既に、アジア各国でリモート大会が開催されてきており、今後一つの国際競技会の方法として確立されていくのだろうということを感じた大会となった。

最後に、この競技会に参加していただいた高校生並びに関係各位のご協力に対して深く感謝し、報告とする。（詳細な成績は巻末ならびに協会HPを参照願いたい。）

以上

出場選手の感想は以下のとおりです。

ライフル

●野畑美咲（大分県立由布高等学校2年）

世界の選手と一緒に戦えたことをまず感謝し、世界のレベルの高さを実感しました。特に中国

はシリーズ106という安定した点数を出し続けていた事に驚きました。ファイナルでは序盤高い点数を出せていたのに、ほかの選手とあまり点数の差が開かない事がありレベルの違いがよく分かりました。今回の試合の目標として掲げていた試合の入りを上手くすると言った点では、目標達成することができたと思います。反省点としては2つ挙げられます。1つ目は、ファイナルで後半上手く点数を出すことが出来なかったことです。順位や点差を気にせずに撃つということが今回の発見した点です。2つ目は、終わったあといつもは痛くない腰が痛かったので無理な姿勢で反って撃っていた事に気がついたことです。いつもと違うフォームで撃っていたことにも気づかなかった事が悔しかったです。私は左足に全体重を掛けているフォームをしています。だから撃ち終わった後にいつも左の膝が痛くなります。岡田直也選手から目で盗んでこのフォームにしたので本人に聞いてみると、トレーニングで改善することは難しいので体重の乗りを6:4くらいにしてはどうかと、アドバイスをして頂きました。貴重な体験をさせて頂き私の今後の練習、やるべき事がきちんと定まりました。リモートでは、音声のぶれがあったり、同じ会場で撃つといった独特の空気を感じることは出来ないが、コロナ禍で開催した頂けるだけでとてもありがたいことだと感じました。とても素晴らしい運営でした。ありがとうございました。

●三浦莉桜（福井県立足羽高等学校3年）

前日や、前々日の練習では普段通りの射撃をすることができ、いいイメージを持って試合に挑むことができました。しかし、リモートでの試合ということで目の前にカメラがあると考えと少し動揺してしまい、ルーティン等はしっかりできていたのですが標準から撃発までの間で集中しきれなくなっていたのではないかなと結果を踏まえて振り返ってみると思います。そんな中他の選手の射撃を見てみると、とても落ち着いていて余裕のある射撃だなと感じ、まだまだ自分は甘いなと思いました。普段の練習から自分自身の射撃を見直し、どんな場面でもいい撃発ができるように努めていきたいと思っています。

●田邊伶奈（岐阜県済美高等学校3年）

今回の東アジアユースは、私にとって初の国際大会で、出発前からずっと練習の時もとても緊張していました。しかし、試合前日や射座入り直前の三木さんや松島さんからの声かけのおかげでリラックスした状態で射座に入ることができたので、とても感謝しています。今回は「引き金を真っ直ぐ引く」ということだけに意識をして撃ち、また、目標であった「全力で楽しむ」ということを達成させることができました。ですが、620点を撃ってもファイナルに残れないという世界の壁を目の当たりにし、今の練習方法ではこれからの国際大会でも勝つことが難しいと身をもって感じました。数ヵ月後には地元を離れ、大学という新たな場所で射撃に向き合っていく私にとって、この経験はとても貴重なものであり、これを機会に練習メニューを作成してもっと計画的な練習をしようと決めました。また、技術面では、スキヤット等を使い軌跡の確認し、良いリズムでなければ銃を下ろすなど、まだまだ改善しなければならないことが多く見つかったので、これからの練習で取り組んでいこうと思います。

●松島朔矢（岐阜県大垣日本大学高等学校2年）

今回の試合では練習で注意された引き金の引きを丁寧にするという目標でやってきました。そ

の目標を達成できた部分もあった反面引き金の引きが雑になったり自分の姿勢を見失ったりした時があったので今後の練習で自分なりに試行錯誤したり、他の県の選手の人にアドバイスを求めたりして改善していきたいです。海外の同じ高校生が630点に近い点数を撃っているのを見て自分は日本の中だけを見て練習してはダメだ、今後オリンピックなど国際大会に出場することを考えると世界に目を向けて練習しなければそれなりの結果が出ないことを理解しました。普通の試合よりリモートの試合の方が、緊張感がなく自分のペースで撃てると思うが、緊張感が無すぎて逆に集中できないことがあった。

やっぱりリモートの試合ではなく実際に他の県や他の国の選手と一緒に射場でやる普通の試合の方が平等で順位や結果に差が出来ないと感じた。

この試合では自分の課題が多く見つかり今後の試合に向けての目標も多く出来ました。この試合を出発点として世界に飛躍できる選手になります！

●小関賢登（千葉県立茂原樟陽高校3年）

今回の大会で学んだことの中で1番大きかったのは自分の未熟さでした。

前日練習や通常練習等では普通に撃てていたのに、本番になった途端自分ができていたこと、やっていたことが分からなくなってしまい、4シリーズ目まで点数が出せなかったことが次の課題点になるなと思いました。さらに、前日練習や試合の途中で教わった「休憩する時は下ではなく、遠くの上の方を見ること」や「水分補給は、一口デほんのちょっとでいい」など普段、あまり気にしない所を指摘されてなるほどなと、感じました。試合だけではなく、その他のこともしっかり意識する大切さを学びました。また、10以下の点数を出した時の意識の仕方なども今後の課題に入ると思いました。せっかく参加させていただいたのに良い成績も残せず、この大会に出場できるのはこれで終わりということがとても悔しいです。今後はさらに練習量を増やして他国の選手になれるよう精進します。

●松浦悠斗（岐阜県鶯谷高校2年）

試合ではかなり緊張すると思っていて、案の定最初はかなり緊張した。けれどそのあとは落ち着いて楽に、楽しく撃つことができた。初めてのリモートで不安な面もあったけれど、よくサポートしていただきとてもいい経験になった。また、試合中の切り替えをもっと早くしないといけないと思った。良い結果にはならなかったけれど、今回の事を確実に次に繋げていけるようにしたい。リモートでの開会式で聞き取りにくい場面や少し寂しい気もしましたが、みんなで盛り上げる開会式はとても良かった。また、間近で仲間の選手宣誓が聞けてとてもよかった。ただ、やはり次は各国一つで開催される事になるといいなと思う。"

ピストル

●小西伶奈（埼玉県国際学院高校2年）

私は今回初めてこんなに大きな大会に出ました。日本代表という国を背負っての試合というのは普段の個人戦よりも何十倍も緊張し、とても不安でした。けれど、自分を信じて引き金を引かなければならず、震えて自分の撃ちたいタイミングで撃つのがとても難しかったです。試合ではエリックコーチがアドバイスをジェスチャーで出してくれたおかげでリラックスでき、いい点数

を撃てる事もありました。しかし、自分で自分を押し潰してしまい自分に負けメンタルの弱さを思い知らされました。エリックコーチには緊張しているからグリップを握りしめてしまっていること、フォロースルーができていないことなど気づかなかったことを注意してくださいました。本選の点数は普段と比べるといいとは言えない点数ですが、今までこんなにも緊張しながら撃つことはなかったためとてもいい経験になりました。ファイナルでは本選での課題も改善しようとフォロースルー、グリップの握り、深呼吸の3つを意識して試合を行いました。緊張で手が震えていたため、フォロースルーで必ずタイミング撃ちになってしまいました。また、時間が決まっているため心が急いでしまい、トリガーをゆっくり引くことが出来ていませんでした。深呼吸はとてもたくさんしましたが、もっと深くしなければならなかったと思います。

●佐藤琳（JOC エリートアカデミー / 東京都立学園高校3年）

ユースやジュニアの合宿はとても珍しく、この合宿はとても良い機会だった。大人数で行うゲームやファイナル練習で同年代のチームでやるといつもとはまた違った緊張感があり、エリックコーチがいつも言っているようにこのような経験が試合に有利に働くのだと感じた。ライフルチームとの交流が少なく少し残念に思ったが、新型コロナウイルスが終息した合宿ではもっと交流して情報を得たい。

私は、選手宣誓を務めさせていただきとても緊張した。それ以外は、何事もなく閉会式を無事終えられたと思う。カメラの設置や通信など普段とは違った開会式で新鮮だったが、各国の選手の顔があまり見えないのが残念だった。

●楠下歩生（熊本県文徳高等学校3年）

今回の試合は学んだことが多い試合でもあり、悔いの残る試合でした。練習ではグルーピングがまとまっており自分の中でいい練習が出来たと思います。しかし試合では緊張はそんなにしませんでした。焦りで力が入ってしまい、銃がブレて、引き金を引く時もスムーズに引くことが出来ませんでした。点数ばかりを気にして、納得のいく点数を出すことが出来ませんでした。直すところは分かっているのに、それが試合で出せませんでした。私がこの試合で学んだことは、引き金の引き方を絞るように引くことと、手首を固定することの主に2つを学びました。これからの練習では練習で1発1発を試合のような緊張感で練習し、1発を撃つのに銃を構えるのが長いので1発をファイナルの50秒で撃つ練習をするなど練習を工夫して試合でその成果が出せるようにしていきたいと思います。私は東アジアユースエアガンなどの大きな大会に出ることが少ないため、この試合に出れてとてもいい経験が出来たと思います。貴重な体験で学んだことを部活の後輩に教えて、後輩にも東アジアユースエアガンにでて活躍して欲しいなと思いました。

普通の試合と比べて、リモートは緊張感がありませんでした。普通の試合は射撃音や他の選手が見えて、緊張感がとてもありますが、日本代表選手だけで撃っていたため練習のような気持ちで撃つことができました。リモートは音声がかえにくく、聞こえにくく不便なところも多々ありましたが、東アジアで繋いで試合が出来るということはとても凄いことだと思いました。中止にせずに開催して下さった協会の方々に感謝したいと思いました。

●松田健太郎（埼玉県国際学院高等学校3年）

今大会で撃った557点は私の大会自己新タイ記録です。点数的に見れば、ベストを尽くすことができたと思います。また、80点台を撃ったシリーズがあるのでそのシリーズを中心に各シリーズで点数を上げていけば確実にファイナルに残る点数を出せると、可能性を感じた大会となりました。同時に、世界のレベルの高さを痛感しました。ファイナルでは日本新記録を余裕で超える点数を撃っていることに驚きました。そのなかでも、私が最も感じたことは、「射撃の自動化」です。海外の選手は1つひとつの動きが自動化されることで、安定した射撃リズムやトリガーを引く速さに繋がっているのだなと感じました。

私は今大会でトリガーの引き方や呼吸法をはじめ、多くの改善点を新たに発見しました。それらを自身の部活に戻ってから改善し、次に繋がるように仕上げていきたいです。

全体的に見れば、男子団体戦で日本新記録を取ることができ嬉しく思います。またそのメンバーの一人として撃つことができ、光栄です。

次に世界大会で日本代表として試合をする際には、今大会で得たことを力に変え、メダルをとれるようにします。

●小柳勇生（福岡県立太宰府高等学校3年）

コロナがなかったら、射場の中で外国の方と一緒に並んで人の話を聞いたり、コミュニケーションを取れたり、目の前で、10点連続で出されて焦ったりしたのかなーと思ってました、でも限られた画面の中でもみんなと集まって手を振ったりコミュニケーションなど取れたりして良かった、楽しかったです。五日間という長いようで短かったこの合宿ですが、なかなか会えない方たちとも会話をしたり、アドバイスをもらったりして本当に感謝だなと思います。大きな遠征じゃないと会えない人たちとも仲良くなれて嬉しかったです。15歳から18歳までの短い期間でしか体験できないことをたくさんしてたくさん会話をして、色んなアドバイスをもらって本当に良かったなと心から思ってます。

ご飯もすごく美味しくて、スタッフさんもすごく優しくて、アスリートの方も挨拶したら会釈や挨拶を返してくれたりしてくれたので、本当に素晴らしいとこだなと思いました。

●吉村和徳（岐阜県済美高等学校3年）

今回の試合で学んだことは初の国際大会出場で他の国の選手の強さや違いを感じることができました。いつもの試合と違い国際大会ということもありプレッシャーを感じた部分もあり試合中に思ったように引き金が引けなかったりと、いうことがあったのでそこが今後の課題だと思いました。またエリックコーチから試合中にアドバイスをいただいたフォロースルーも特に意識しながら今後の練習に取り組んでいきたいと思います。

今回の試合で初めて時間が足りないということがありました。引き金がうまく引けなかったということもありましたがもう一度時間配分を見直していきたいと感じました。

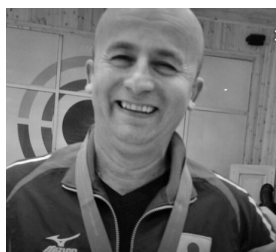
自分としてはいいと言えるような結果ではなかったですが試合の中で自分の射撃がしっかりできたと言える部分も多くありました。

ピストル日本代表コーチ エミール・ドゥシャノフ氏より寄稿（５）

訳者：日本ライフル射撃協会事務局長 藤井 彌（わたる）



日本で射撃競技される全ての選手のみなさんに向けて、
ピストル日本代表コーチのエミール・ドゥシャノフ氏から記事が届きました。
選手の競技レベル、ライフル・ピストル種目を問わず役に立つことがあると思いますので、是非
ご一読ください。
5回シリーズ最後の寄稿です。



エミール・ドゥシャノフコーチ

オート・ヒプノ・イデオモーター・トレーニング（AHIT）

オート・ヒプノ・イデオモーター・トレーニングとは、体系的なトレーニングメソッドであり、
AHIT と略されます。

語源

- ・“Autos” - 古代ギリシャ語で、単独、自立、独立、個別を意味します。
- ・“Hypnos” - 古代ギリシャの眠りの神を表します。意識を完全に失っていない、夢心地の状態を指します。緊張と興奮が無視されている状態です。この状態は、精神的な興奮を制御し、自信を感じる状態へと心を調整します。
- ・“Ideo” - 古代ギリシャ語で、アイデア、考え、メンタルイメージを意味します。
- ・“Motor” - ラテン語で、一連の動作を意味します。

イデオモーター・イメージは、筋肉と骨格のシステム（運動器）に対して微細な刺激を引き起こします。このアプローチをとることは、技術的に実現したい目標や作業の完成度を高めるため

に非常に効果的です。

射撃のモデルの正確さを決める主なポイントは、以下の通りです。

- ・次に行われる動作や活動は、そのメンタルイメージが正確でしっかりしているほど、実現されやすい。微細な振動が引き起こされ、それが抜群のパフォーマンスへ向けて筋肉や関節の準備を整える。
- ・パフォーマンスを発揮する体の部分が準備されていればされているほど、より良い動作が実現される。
- ・脳と筋肉の間の伝達がスムーズであるほど、動作の完成度と効果がより高くなる。

言葉は、それ自身が勝手に浮かび上がってくるわけではありません。それらは、私たちの考えから浮かび上がってきます。言葉で思い描く事で射撃のパターンの質を改善できるのでしょうか。出来るのです。まず、これからしようとする活動について、正確なモデルとなるプログラムを作ることが必要です。競技の技術的の要素と関連する、理想となる「メンタルイメージモデル」を作るためです。

「メンタルイメージモデル」は、1発を撃つ最初のステップです。これが自分をプログラミングし、調整し、次の動作に対するイデオモーターを明確にしていくのです。

言葉の単純なコピー＆ペーストではなく、パフォーマンスのコピーをしたいのです。

従って、完璧なショットを実現するための想いを表す言葉は、メンタルを事前に整え、的確に考える助けとなります。もちろん、これは練習中だけでなく、試合においても役立ちます。想いを表す言葉は、私たちが好きものを使うことができ、自信を満たす事に使うことができます。

この言葉は、文法的な正しさや美しさを求めるのではなく、自分個人にとってわかりやすく、自分のアクションを後押しし、明確にしてくれるものです。

理想とするパフォーマンスを引き起こすための自分への声かけは、考えを練り上げ、映像を思い描く事を助け、集中力を高めることに役立ちます。

自己改善のトレーニングを通して学ぶ一連の知識は、自己受容への導き手となり、情緒を安定させます。イデオモーターは、物事を実現することに貢献し、期待する結果を得る役に立ちます。

調和とバランスのとれたレベルアップをしていくためには、技術的な練習がそれなりの時間必要となります。練習から最大限の効果を得るためには、実行する部分（身体）とプログラミングをする部分（頭脳）を準備しなければなりません。自分自身への声かけが、その2つ掛橋となり、練習の努力に対する効果を倍増させます。

以下のものが、AHITを使ったトレーニングの基礎となる、イデオモーターの表現例です。

- ・私は、自分が持っている全てのリソースを声かけによってアクティベートする。（リソースとは、技術的なものだけでなく、自分への声かけによって活用される技術、習慣、精神的・情緒的なものです。）
- ・イデオモーターは、一発を撃つはじまりをチューニングするものです。
- ・姿勢と自分のセンサーの調和がとれており、安定しています。
- ・身体中の筋肉、関節、腱は、撃発する準備が整っている。
- ・私の撃発には明確なビジョンがある。
- ・私は、身体からのフィードバックを感じている。

- ・私は呼吸を整え、コントロールできている。
- ・心地よく、ポジティブなエネルギーが湧き出ている。
- ・明確にイメージができています。
- ・自信が湧いてきている。

あなたへのアドバイス：文、言葉を自分で試したり、工夫したり、より簡潔な言葉にしてみたりしてください。自分への言葉を簡潔にしていくとき、自分自身がそれを気に入る、繰り返しやすく、プログラミングの部分（脳）から身体へ伝わりやすい、という事が重要です。このスポーツで上達する過程で、自分自身を受け入れ、自分にあったオリジナルなものにしていく事を心に留めてください。夢を実現するために、強く信じて獲得を願ってください。成功はあなたのものです！



連載を終えたエミールコーチからコメントをいただきました。

「今回の連載には、私の射撃スポーツの全経験を注ぎ込みました。

射撃だけでなく、メンタルにも関わる事なので、みなさんに伝えられるものを最大限伝えたい、と思って書きました。連載を何度も読み返すことが、あなたの未来を躍進させます。

これらの記事が、あなたの役に立つ事を願っています。」

2021年度事業計画

(自 2021 年 4 月 1 日 至 2022 年 3 月 31 日)

1. 活動方針

本会は、スポーツ基本法の理念に則り、ライフル射撃競技の普及と振興を図るための諸事業を展開する。東京 2020 オリンピック競技大会では集中した選手強化事業の成果としてメダル獲得を目指し、大会後はパリ大会に照準を合わせ NT 選手の強化、ジュニア選手の発掘・育成・競技力向上に全力で取り組む。養成を続けてきた NTO（国内技術役員）をはじめとする要員でオリンピック・パラリンピック大会の運営を担い、国際競技会の運営能力向上を図る。スポーツ団体ガバナンスコードの遵守に向けて取り組み、公益団体として社会への貢献活動を推進する。

2. 事業（定款第 4 条第 1 項～6 項）

1 ライフル射撃スポーツの普及及び指導

- ・ガバナンスコードの原則 5 に対応したインテグリティ教育の実施対象拡大
- ・社会貢献事業として高齢者社会福祉施設における体験射撃会の実施
- ・ジェンダーフリーへの取り組みとして男女総合成績の発表と表彰の実施
- ・ホームページ、YouTube 等の SNS を活用した射撃競技の広報活動の実施
- ・ドーピング防止活動に関する会員への指導
- ・協会認定コーチによる年少者発掘育成強化事業の実施
- ・体験射撃会や見学会等普及活動の実施

2 ライフル射撃スポーツの日本選手権大会及びその他の競技会の開催

- ・国民体育大会の運営、全日本選手権大会及び各種競技会の主催
- ・with コロナに対応した、リモートファイナル大会、分散競技会の実施
- ・オリ・パラ合同試合の実施

3 ライフル射撃スポーツに関する競技力の向上を図ること

- ・NTC イースト（東館）射撃場の活用によるナショナルチーム・ジュニア育成チームの合宿等および一貫指導体制に基づく選手強化事業の実施
- ・競技力向上を目指したオンライン国際競技会、記録会の実施と参加
- ・スポーツ医科学情報を活用した強化事業の実施

4 ライフル射撃スポーツに関する指導者及び審判員の養成及び資格認定

- ・日ラ認定コーチ及び JSPO 公認コーチ資格を有する質の高い指導者の養成
- ・公認審判員の資格認定及びオンラインを含めた講習会開催による審判員の育成
- ・指導者の活動促進助成及び競技会、国際大会への派遣

5 ライフル射撃スポーツの普及・発展に資するための補完事業として事業運営上必要な物品の頒布

6 その他目的を達成するために必要な事業

- ・スポーツ団体ガバナンスコードに適應するための、必要な諸規程を整備、及びコンプライアンス強化のための教育の実施
- ・協会を取り巻く環境の変化を見据えた、マーケティングを含む組織経営に関する中長期基本計画の策定
- ・デジタル技術の活用による、推薦を含む会員向けサービスのオンライン化

2020 年度 主催競技会計画

本 会 事 業 関 係					
月	期 日	事 業 名	場 所		
	日 自 至		都道府県	市町村	
4	17日(土)－18日(日) 29日(木)－5/2(日)	G2 第21回全日本ジュニアビームライフル射撃競技大会 中止 G2 第37回全日本ライフル射撃クラブ対抗選手権大会(50m・10mSの部)【SH1】	岐阜県 埼玉県	岐阜市 長瀨町	
5	2(日) 15日(土)－16日(日) 21日(金)－23日(日) 21日(金)－23日(日) 15日(土)－16日(日)	G2 第30回全日本ライフル射撃クラブ対抗選手権大会(10mP60の部) G1 全日本選抜ライフル射撃競技大会(50m ライフル) G2 第51回東日本ライフル射撃競技選手権大会 G2 第51回西日本ライフル射撃競技選手権大会 G1 第47回全日本ライフル射撃競技選手権大会(300m)	埼玉県 熊本県 愛知県 長崎県 埼玉県	長瀨町 益城町 豊田市 長崎市 長瀨町	
6			調整中		
7	2日(金)－4日(日) 9日(金)－11日(日)	G2 第25回日本学生選抜スポーツ射撃競技大会 G1 全日本ライフル射撃競技選手権大会(BR/BP) 【分散/リモートF・SH1・男女混合】	埼玉県 宮城県	長瀨町 石巻市	
8	8日(日)－11日(水)	G2 第59回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会	広島県	安芸太田町	
9	10日(金)－12日(日) ----- 18日(土)－20日(月) ----- 18日(土)－19日(日) ----- 21日(土) 25日(土) 仮	G2 JOC ジュニアオリンピックカップ 兼 第32回 ISSF ジュニアライフル射撃競技選手権大会 G2 全日本社会人ライフル射撃競技選手権大会 兼 第77回 国体ライフル射撃競技リハーサル大会 G2 全国センター・ファイア・ピストル射撃競技大会 兼 第77回 国体ライフル射撃(25m)競技リハーサル大会 G2 第7回全日本小中学生ライフル射撃競技選手権大会(BR/BP) G2 第7回全日本小中学生ライフル射撃競技選手権大会(AR/AP) 兼 育成ナショナルチーム選考記録会(AR/AP)	埼玉県 栃木県 栃木県 埼玉県 調整中	長瀨町 宇都宮市 宇都宮市 調整中	
10	1日(金)－4日(月) 9日(土)－10日(日) 14日(木)－17日(日) ----- 22日(金)－24日(日) ----- 23日(土)－24日(日) 29日(金)－31日(日) 30日(土)－31日(日)	G1 第76回国民体育大会ライフル射撃競技 G2 第26回全日本ライフル射撃クラブ対抗選手権大会(300m) G2 全日本学生スポーツ射撃選手権大会 第68回男子総合/ 第34回女子総合 G1 全日本ライフル射撃選手権大会(50m ライフル) 兼 全日本選抜ライフル射撃競技大会(10mAR/AP) G2 第44回全日本前装銃射撃競技選手権大会 G1 全日本ライフル射撃競技選手権大会(センターファイアピストル) G2 第34回全日本障害者ライフル射撃競技選手権大会	三重県 埼玉県 大阪府 大阪府 千葉県 広島県 静岡県	津市 長瀨町 能勢町 能勢町 千葉市 安芸太田町 藤枝市	
11	6日(土)－7日(日) 12日(金)－14日(日) 20日(土)－21日(日) 5日(金)－7日(日)	G2 全日本マスターズライフル射撃選手権大会(50m10m) G1 全日本ライフル射撃競技選手権大会(50m・25m ピストル) G2 全日本マスターズライフル射撃選手権大会(300m) G2 第40回全日本ライフル射撃クラブ対抗選抜大会(50m・10mSの部)【SH1】	静岡県 千葉県 埼玉県 埼玉県	藤枝市 千葉市 長瀨町 長瀨町	
12					
1					
2	12日(土)－13日(日)	G1 第4回全日本ミックスチーム射撃競技選手権大会(AR・AP)	静岡県	藤枝市	
3	11日(金)－13日(日) 25日(金)－27日(日)	G1 全日本ライフル射撃競技選手権大会(10mAR/AP) 【分散/リモートF・SH1・男女混合】 G2 第41回全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会	宮城県 熊本県	石巻市 益城町	

会 議 関 係		
期 日	会 議 名	
月 日		
4 22日(木)	推薦委員会	
5 19日(水)	①常務理事会	
27日(木)	推薦委員会	
29日(土)	第一回理事会	
6 19日(土)	定期総会 ・臨時理事会	
24日(木)	推薦委員会	
7 9日(金)	オリ・パラ五輪壮行会	
10日(土)	第二回理事会	
8		
26日(木)	推薦委員会	
9 15日(水)	②常務理事会	
25日(土)	第三回理事会	
30日(木)	推薦委員会	
10 28日(木)	推薦委員会	
11 17日(水)	③常務理事会	
25日(木)	推薦委員会	
12 4日(土)	第四回理事会	
9日(木)	推薦委員会 公認コーチ3 専門科目講習	
1 26日(水)	④常務理事会	
27日(木)	推薦委員会	
2 24日(木)	推薦委員会	
26日(土)	第五回理事会	
27日(日)	審判講習会	
3		

関 連 事 業 関 係				
期 日		事 業 名	担当	場所
月	日 自 至			
4	16日(金)～27日(火)	ISSFW 杯 チャンウォン大会 延期	韓国	
5	中旬	READY STEADY TOKYO -・Shooting (オリンピックゲームテストイベント)	日本	東京 2020
6	22日(火)～7月1日(木) 25日(金)～27日(日)案 「-----」	ISSFW 杯 バクー大会 第76回国体関東ブロック 兼 全関東選手権大会	アゼルバイジャン 栃木	バクー 宇都宮市
7	3日(土)～11日(日) 23日(金)～8月2日(月)	ISSF ジュニア W 杯 オリンピック射撃競技	ドイツ 日本	ズール 東京2020
8	19日(木)～23日(月) 21日(土)～22日(日) 「-----」 調査中 21日(土)～22日(日) 「-----」 21日(土)～22日(日) 「-----」 調査中 「-----」 調査中 「-----」 20日(金)～22日(日) 「-----」 30日(月)～9月5日(日)	ユニバーシアード 第76回国体東海ブロック 兼 東海選手権大会 第76回国体近畿ブロック 第76回国体中国ブロック 兼 中国選手権大会 第76回国体四国ブロック 兼 四国選手権大会 第76回国体九州ブロック 兼 九州選手権大会 第76回国体東北・北海道ブロック 兼 第48回東北総合体育大会 第42回北信越国民大会 (第76回国体北信越ブロック) パラリンピック射撃競技	中国 静岡 調査中 岡山 徳島 山形 長野 日本	成都 藤枝市 岡山市 徳島市 南陽市 南砺市 (富山) 東京2020
9	25日(土)～10月10日(日)	ISSF ジュニア世界選手権	ペルー	ロスバラモス
10				
11				
12				
1				
2				
3				

2021 年度 理事会資料 選手強化・オリンピック最終選考関係

月	期 日	事 業 名		都道府県	市町村
4	17日(土)・18日(日)・ 19日(月) 21日(水)	オリ25①	G3+	東京都	北区
	25日(日)・29日(木)	オリ25②	G3+	東京都	北区
		オリ再25	G3+	東京都	北区
		オリ指50	G3+	埼玉県	新座市
5	14日(金)～16日(日)	オリ再50	G3+	埼玉県	新座市
	23日(日)	オリ再再50	G3+	埼玉県	新座市
	29日(土)～30日(日)	P25①	G3+	東京都	北区
6	5日(土)～6日(日)	R50①	G3+	新潟県	胎内市
	12日(土)～13日(日)	RP10①	G3+	東京都	北区
10	9日(土)～10日(日)	R50②	G3+	大阪府	能勢町
	16日(土)～17日(日)	P25②	G3+	東京都	北区
11	6日(土)～7日(日)	RP10②	G3+	東京都	北区
	27日(土)～28日(日)	P25③	G3+	東京都	北区
12	11日(土)～12日(日)	RP10③	G3+	東京都	北区
	18日(土)～19日(日)	Jr①	G3+	東京都	北区
2	5日(土)～6日(日)	RP10	G3+	東京都	北区
	11日(金)～12日(土)	Jr②	G3+	東京都	北区
3	5日(土)～6日(日)	P25	G3+	東京都	北区
	19日(土)～20日(日)	R50	G3+	東京都	北区

2021 年度 後援・公認競技会計画

期 日		事 業 名		場 所	
月	日 自 至			都道府県	市町村
4	10日(土)－11日(日) 17日(土)－18日(日) 25日(日) 30日(日)	G3 G3+ G3 G3,G4 G3	第19回関西オープンライフル射撃選手権大会 春季ピストル射撃競技 千葉大会 兼 全国春季ピストル射撃競技大会(25m) 全九州ライフル射撃競技大会 全国通信ジュニアビームライフル射撃大会(BR/BP) 春季ピストル射撃競技・秋田大会	和歌山県 千葉県 全国 秋田県	海南市 千葉市 由利本荘市
5	1日(土)－4日(火) 15日(土)－16日(日) 29日(土)－30日(日)	G3,(G4) G3 G3 G3+	春季 BP/BR スポーツ・シューティング大会 兼 ランクリスト大会 春季ライフル&ピストル射撃競技・広島大会 第1回全国ピストル射撃競技大会(50m・10m) 第3回全国ピストル射撃競技大会(U30)	全国 広島県 埼玉県 大阪府	安芸太田町 長瀬町 能勢町
6	6月6日(日) 10日(木)－13日(日) 6月13日(日) 14日(日)	G3 G3+ G3 G3+ G3 G3	近畿ライフル射撃選手権大会(大橋杯) 埼玉県知事賞争奪 関東学生スポーツ射撃選手権春季大会 2021年度中部日本ライフル射撃選手権 第45回東日本大口径ライフル射撃競技選手権大会(150m) 2021年度四国夏季片手撃射撃競技大会 九州高等学校ライフル射撃競技選手権大会	大阪府 埼玉県 愛知県 高知県	能勢町 長瀬町 豊田市 益城町 春野町
7		G3,G3+	ヤングスターランクリスト競技会 サマーカップ	全国	
8	28日(土)－29日(日) 29日(日)	G3+ G3+	第26回東日本マスターズライフル射撃競技選手権大会 第26回西日本マスターズライフル射撃競技選手権大会	埼玉県 熊本県	藤枝市 長瀬町
9	11日(土)－12日(日) 12日(日) 16日(木)－19日(日) 25日(土)－26日(日)	G3+ G3+ G3+ G3+ G3,(G4)	秋季ピストル射撃競技 千葉大会 兼 全国秋季ピストル射撃競技大会(25m) 東日本夏季 AP・FP・HR 射撃競技大会 埼玉県知事賞争奪 関東学生スポーツ射撃選手権秋季大会 第20回マスターズ・ジャパン・カップ 夏季 BP/BR スポーツ・シューティング大会 兼 ランクリスト大会	千葉県 宮城県 埼玉県 静岡県 全国	益城町 千葉市 石巻市 長瀬町
10	16日(土)－17日(日)	G3 G3,G3+	第2回全国ピストル射撃競技大会(50m・10m) ヤングスターランクリスト競技会 オータムカップ	埼玉県 全国	長瀬町
11	5日(金)－7日(日) 21日(日) 20日(土)－23日(火) 27日(土)－28日(日)	G3+ G3 G3,(G4) G3+ G3 G3	ジュニアエアガン大会 西日本秋季 AP・HR・FP 射撃競技大会 秋季 BP/BR スポーツ・シューティング大会 兼 ランクリスト大会 第3回全日本選抜小中学生ライフル射撃競技大会 (10mAR/AP・BR・BP・ターゲットスプリント) 冬季ライフル&ピストル射撃競技・広島大会 第3回全国ピストル射撃競技大会(50m・10m)	広島県 岡山県 全国 広島県 埼玉県	安芸太田町 岡山市 安芸太田町 長瀬町
12	4日(土)－5日(日)	G3,G3+ G3	冬季 AR・AP ランクリスト競技会 九州高等学校ライフル射撃競技新人大会 兼 全国高等学校選抜大会予選会	全国	
1	8日(土)－9日(日) 16日(日)	G3,G3+ G3+ G3,G3+	冬季 AR・AP ランクリスト競技会 東日本冬季 AP・FP・HR 射撃競技大会 ヤングスターランクリスト競技会 ウィンターカップ	全国 宮城県 全国	石巻市
2	5日(土)－6日(日) 19日(土)－20日(日) 19日(土)－20日(日)	G3,(G4) G3+ G3	冬季 AR・AP ランクリスト競技会 冬季 BP/BR スポーツ・シューティング大会 兼 ランクリスト大会 第4回ヤングスターファイナル全国選抜大会 第4回全国ピストル射撃競技大会(50m・10m)	全国 全国 神奈川県 埼玉県	横須賀市 長瀬町
3	20日(日) 5日(土)－6日(日) 26日(土)－27日(日)	G3 G3 G3,G3+	西日本春季 AP・HR・FP 射撃競技大会 四国冬季片手撃ち射撃競技大会 冬季50m ライフル・ランクリスト競技会	岡山県 徳島県 全国	岡山市 徳島市

★後援・公認競技会の要項は協会 HP に掲載します。

ヤングスターランクリスト競技会

※競技会の規模により G3+

	G3,G3+	第6回ヤングスターランクリスト競技会 サマーカップ		全国
	G3,G3+	第6回ヤングスターランクリスト競技会 オータムカップ		全国
	G3,G3+	第6回ヤングスターランクリスト競技会 ウィンターカップ		全国

ランクリスト競技会

※競技会の規模により G3+

	G3,G3+	第21回冬季 AR・AP ランクリスト競技会		全国
	G3,G3+	第21回冬季 AR・AP ランクリスト競技会		全国
	G3,G3+	第21回冬季 AR・AP ランクリスト競技会		全国
	G3,G3+	第16回冬季50m ライフル・ランクリスト競技会		全国

2020 東アジアユースエアガン大会 (オンライン)

2020年12月11日(金)～12日(土)

会場：日本(運営本部：JSOS、競技：NTC イースト)、韓国、中国、シンガポール

10m Air Rifle 60J

① SHENG Lihao	(CHN)	629.4	250.8
② JIANG Xuanle	(CHN)	627.3	249.9
③ ZHU Mingshuai	(CHN)	624.1	229.0
④ GAI Tianrui	(SGP)	626.4	206.6
⑤ LEE Woo Jun	(KOR)	622.0	184.9
⑥ OH Junyeong	(KOR)	621.9	162.4
⑦ TANG Hong An	(SGP)	616.5	132.3
⑧ OH Joon Seo	(KOR)	620.4	120.3

⑨ 松島 朔矢	(大垣日大高)	614.5	
⑩ 小関 賢登	(茂原樟陽高)	607.9	
⑪ 松浦 悠斗	(鶯谷高)	606.5	

10m Air Pistol 60J

① LIU Junhui	(CHN)	578	26x	245.2
② KIM Kyungmin	(KOR)	560	12x	241.1
③ YANG Zhihao	(CHN)	568	14x	217.3
④ TEO Jia En	(SGP)	564	15x	195.7
⑤ JUNG Seyoung	(KOR)	568	10x	173.0
⑥ FENG Linlang	(CHN)	578	21x	152.2
⑦ 小柳 勇生	(太宰府高)	560	13x	122.1
⑧ NOH Hyong Sung	(KOR)	567	20x	111.2

⑩ 松田健太郎	(国際学院高)	557	11x	
⑪ 吉村 和徳	(済美高)	553	8x	

10m Air Rifle 60WJ

① TAN Fernel Qian Ni	(SGP)	630.7	252.7
② XU Hui	(CHN)	623.0	251.2
③ YAN Jinjin	(CHN)	629.1	229.8
④ 野畑 美咲	(由布高)	624.0	207.4
⑤ KWON Eun Ji	(KOR)	626.7	184.9
⑥ TAN Natanya Huiyi	(SGP)	624.5	163.2
⑦ JANG Jeong In	(KOR)	624.1	142.2
⑧ KIM Sun Ja	(KOR)	623.1	119.1

⑩ 田邊 伶奈	(済美高)	620.2	
⑪ 三浦 莉桜	(足羽高)	617.4	

10m Air Pistol 60WJ

① SHEN Yiyao	(CHN)	572	16x	240.7
② YAO Qianxun	(CHN)	567	14x	240.2
③ WANG Siyu	(CHN)	568	13x	215.4
④ NAM Da Jung	(KOR)	574	15x	195.2
⑤ 小西 伶奈	(国際学院高)	559	10x	172.0
⑥ LEE Si Yoon	(KOR)	574	19x	154.7
⑦ KEK Jia Yi Emily	(SGP)	554	8x	134.6
⑧ KIM Ju Hee	(KOR)	569	15x	114.9

⑨ 佐藤 琳	(JOCエリートアカデミー)	552	12x	
⑩ 楠下 歩生	(文徳高)	538	7x	

団体

10m Air Rifle 60J (団体)

① CHN	1880.8
② KOR	1864.3
③ SGP	1857.2

④ 日本	1828.9
------	--------

10m Air Pistol 60J (団体)

① CHN	1724	61x
② KOR	1695	42x
③ SGP	1671	34x

④ 日本	1670	32x
------	------	-----

10m Air Rifle 60WJ (団体)

① KOR	1873.9
② CHN	1873.5
③ SGP	1873.3

④ 日本	1861.6
------	--------

10m Air Pistol 60WJ (団体)

① KOR	1717	49x
② CHN	1707	43x
③ SGP	1652	31x

④ 日本	1649	29x
------	------	-----

2020 第一回アジア選手権オンライン大会

※ 10m 種目のみ実施、本選結果にて順位決定

2021年1月29日(金)～30日(土)

10m Air Rifle 60

① PANWAR Divyansh Singh	(IND)	632.4
② BABUTA Arjun	(IND)	630.1
③ KUMAR Deepak	(IND)	628.8
④ NYANTAI BAYARAA	(MGL)	628.3
⑤ 岡田 直也 (ALSOK)		627.1
⑥ SEDAGHAT MAHYAR	(IRI)	626.7
⑦ 島田 敦 (日本大学)		625.7
⑧ MOHAMMAD NEKOUNAM AMIR	(IRI)	622.4

10m Air Pistol 60

① SAURABH Chaudhary	(IND)	588	25x
② FOROUGH JAVAD	(IRI)	587	22x
③ SINGH Sarabjot	(IND)	582	14x
④ VERMA Abhishek	(IND)	581	21x
⑤ GOLKHANDAN VAHID	(IRI)	581	20x
⑥ JOSEPH GULFAM	(PAK)	579	18x

⑦ POORHOSSEINI LAFMEJANI SAJAD	(IRI)	578	20x
⑧ 園田 吉伸 (自衛隊体育学校)		577	20x

⑩ 森川 清司 (広島県警察)		573	12x
-----------------	--	-----	-----

10m Air Rifle 60W

① ERDENECHULUUN ENKHMAA	(MGL)	629.7
② BEZRUKOVA Yelizaveta	(KAZ)	629.5
③ 平田しおり (明治大学)		629.0
④ VALARIVAN Elavenil	(IND)	629.0
⑤ TOYYIBA Vidya Rafika Rahmatan	(INA)	627.7
⑥ KHEDMATI NAJMEH	(IRI)	626.7
⑦ SUNG YU-TING	(TPE)	626.5
⑧ SADEGHIAN ARMINA	(IRI)	625.7

⑩ 中口 遥 (同志社大学)		619.5
----------------	--	-------

記録集

10m Air Pistol 60W

① ROSTAMIYAN HANIYEH (IRI)	580	20x	⑥ TSOLMONBAATAR ANUDARI (MGL)	576	10x
② SEBGHATOLLAHI GOLNOUSH (IRI)	579	21x	⑦ YU AI-WEN (TPE)	575	19x
③ MANU Bhakar (IND)	578	14x	⑧ DESWAL Yashaswini Singh (IND)	572	15x
④ GHORBANI MINA (IRI)	576	18x	⑪ 山田 聡子 (自衛隊体育学校)	566	15x
⑤ BUI THUY THU THUY (VIE)	576	18x			

ライフル(10m)・ピストル(10m) ナショナルチーム選考記録会③

2020年12月19日(土)～20日(日) 東京都・NTC イースト射撃場

10m Air Rifle 60

① 花川 直樹 (日本大学)	626.4	
② 遠藤 雅也 (名阪急配)	626.3	
③ 岡田 直也 (ALSOK)	626.1	
④ 松本 崇志 (自衛隊体育学校)	623.5	6S 103.4
⑤ 島田 敦 (日本大学)	623.5	6S 102.8
⑥ 橋爪 一馬 (岐阜県スポーツ協会)	622.8	
⑦ 橋本 昂希 (埼玉県)	619.7	
⑧ 篠原 章宏 (福井県スポーツ協会)	619.6	
⑨ 清水 彰人 (ウエストバージニア大)	618.1	
⑩ 大塩 勇斗 (明治大学)	617.9	
⑪ 山下 敏和 (自衛隊体育学校)	616.9	
⑫ 八川 綾佑 (大分県)	612.7	

10m Air Rifle 60W

① 一ノ渡 桜 (アマノ)	623.4
② 清水 綾乃 (自衛隊体育学校)	622.6
③ 中口 遥 (滋賀ダイハツ販売)	621.6
④ 堀之内 愛 (日本大学)	621.2
⑤ 西 千里 (日本大学)	620.0
⑥ 高木 葵 (JOC エリートアカデミー)	619.7
⑦ 前田 留那 (早稲田大学)	619.1
⑧ 平野 真歩 (鶯谷高等学校)	618.9
⑨ 平田しおり (明治大学)	618.1
⑩ 砥石 真衣 (日立システムズ)	617.8
⑪ 塩入 朔良 (自衛隊体育学校)	617.4
⑫ 渡部奏乃音 (明治大学)	614.7

10m Air Pistol 60

① 園田 吉伸 (自衛隊体育学校)	576	22X
② 堀水宏次郎 (香川県警察)	574	17X
③ 森川 清司 (広島県警察)	570	16X
④ 遠藤太香雄 (京都府)	567	13X
⑤ 野中 靖浩 (大阪府警察)	566	13X
⑥ 金坂 春杜 (自衛隊体育学校)	566	9X
⑦ 横山 博登 (静岡県警)	564	15X
⑧ 清水 達哉 (岐阜県警察)	563	8X
⑨ 佐藤 匡哉 (同志社大学)	559	10X
⑩ 蟹江 良平 (警視庁)	558	11X
⑪ 影井 弘雄 (埼玉県)	554	10X
⑫ 高橋 勇気 (警視庁)	554	8X

10m Air Pistol 60W

① 山田 聡子 (自衛隊体育学校)	571	13X
② 佐々木千鶴 (岩手県警察)	569	13X
③ 小西ゆかり (飛鳥交通)	568	14X
④ 折谷 未来 (新潟県警察)	566	9X
⑤ 相澤ひかる (警視庁)	564	9X
⑥ 佐藤 明子 (警視庁)	563	12X
⑦ 佐藤 琳 (JOC エリートアカデミー)	563	10X
⑧ 星野 優奈 (警視庁)	559	8X
⑨ 北嶋那実子 (CHICKEN WORKS)	554	9X
⑩ 中野 愛望 (茨城県警察)	554	7X
⑪ 松尾 恵実 (兵庫県警察)	550	7X

ライフル(10m)・ピストル(10m) ナショナルチーム選考記録会④

2021年1月23日(土)～24日(日) 東京都・NTC イースト射撃場

10m Air Rifle 60

① 遠藤 雅也 (名阪急配)	629.3
② 岡田 直也 (ALSOK)	626.7
③ 橋本 昂希 (埼玉県)	626.3
④ 松本 崇志 (自衛隊体育学校)	625.5
⑤ 花川 直樹 (日本大学)	625.2
⑥ 島田 敦 (日本大学)	624.0
⑦ 篠原 章宏 (福井県スポーツ協会)	623.6
⑧ 山下 敏和 (自衛隊体育学校)	622.7
⑨ 清水 彰人 (ウエストバージニア大)	619.4
⑩ 橋爪 一馬 (岐阜県スポーツ協会)	617.3
⑪ 大塩 勇斗 (明治大学)	611.4
⑫ 八川 綾佑 (大分県)	610.1

⑥ 横山 博登 (静岡県警)	567	17X
⑦ 影井 弘雄 (埼玉県)	567	14X
⑧ 野中 靖浩 (大阪府警察)	565	12X
⑨ 高橋 勇気 (警視庁)	563	11X
⑩ 山口 航輝 (同志社大学)	562	8X
⑪ 遠藤太香雄 (京都府)	555	13X
DSQ 森川 清司 (広島県警察)	0	

10m Air Rifle 60W

① 堀之内 愛 (日本大学)	625.7
② 清水 綾乃 (自衛隊体育学校)	623.2
③ 一ノ渡 桜 (アマノ)	622.3
④ 塩入 朔良 (自衛隊体育学校)	620.9
⑤ 平田しおり (明治大学)	620.2
⑥ 中口 遥 (滋賀ダイハツ販売)	619.6
⑦ 砥石 真衣 (日立システムズ)	618.1
⑧ 高木 葵 (JOC エリートアカデミー)	617.4
⑨ 渡部奏乃音 (明治大学)	617.2
⑩ 平野 真歩 (鶯谷高等学校)	614.8
⑪ 井浦 一希 (今村病院)	608.5

10m Air Pistol 60

① 園田 吉伸 (自衛隊体育学校)	578	20X
② 堀水宏次郎 (香川県警察)	575	18X
③ 清水 達哉 (岐阜県警察)	571	16X
④ 金坂 春杜 (自衛隊体育学校)	571	10X
⑤ 蟹江 良平 (警視庁)	570	18X

記録集

10m Air Pistol 60W

① 山田 聡子 (自衛隊体育学校)	568	15X	⑥ 中野 愛望 (茨城県警察)	561	10X
② 財津 美加 (大分県警察)	568	13X	⑦ 相澤ひかる (警視庁)	560	11X
③ 佐々木千鶴 (岩手県警察)	567	13X	⑧ 松尾 恵実 (兵庫県警察)	558	8X
④ 佐藤 明子 (警視庁)	562	15X	⑨ 北嶋那実子 (CHICKEN WORKS)	552	13X
⑤ 小西ゆかり (飛鳥交通)	562	11X	⑩ 星野 優奈 (警視庁)	550	9X
			⑪ 佐藤 琳 (JOC エリートアカデミー)	550	7X

ピストル(25m) ナショナルチーム選考記録会④

2021年1月30日(土)～31日(日) 東京都・NTC イースト射撃場

25m Rapid Fire Pistol 60

① 吉岡 大 (京都府警察)	579	18X
② 市川 広義 (警視庁)	577	17X
③ 森 栄太 (自衛隊体育学校)	568	12X
④ 金坂 春杜 (自衛隊体育学校)	565	14X
⑤ 飯村 嘉一 (警視庁)	562	17X
⑥ 本村 将紀 (埼玉県警察)	551	11X
⑦ 畠中 祐輝 (高知県警察)	539	7X

25m Pistol 60W

① 佐藤 明子 (警視庁)	579	27X
② 小西ゆかり (飛鳥交通)	578	17X
③ 山田 聡子 (自衛隊体育学校)	578	13X
④ 北嶋那実子 (CHICKEN WORKS)	577	18X
⑤ 佐々木千鶴 (岩手県警察)	571	17X
⑥ 財津 美加 (大分県警察)	568	13X
⑦ 松尾 恵実 (兵庫県警察)	557	11X
⑧ 細野裕理子 (警視庁)	555	12X

東京2020オリンピック選手指定記録会 (10mライフル・10mピストル)

2021年2月5日(土)～6日(日) 東京都・NTC イースト射撃場

10m Air Rifle 60 (1日目)

① 遠藤 雅也 (名阪急配)	628.8
② 松本 崇志 (自衛隊体育学校)	627.9
③ 岡田 直也 (ALSOK)	624.8
④ 橋本 昂希 (法政大学)	623.7
⑤ 島田 敦 (日本大学)	622.7
⑥ 花川 直樹 (日本大学)	622.3

10m Air Rifle 60W (1日目)

① 一ノ波 桜 (アマノ)	624.7
② 塩入 朔良 (自衛隊体育学校)	623.4
③ 清水 綾乃 (自衛隊体育学校)	622.6
④ 堀之内 愛 (日本大学)	619.1
⑤ 中口 遥 (滋賀ダイハツ販売)	616.6
DSQ 西 千里 (日本大学)	0.0

10m Air Rifle 60 (2日目)

① 遠藤 雅也 (名阪急配)	628.5
② 岡田 直也 (ALSOK)	628.1
③ 松本 崇志 (自衛隊体育学校)	627.9
④ 橋本 昂希 (法政大学)	627.2
⑤ 花川 直樹 (日本大学)	625.6
⑥ 島田 敦 (日本大学)	623.3

10m Air Rifle 60W (2日目)

① 西 千里 (日本大学)	625.7
② 一ノ波 桜 (アマノ)	624.8
③ 堀之内 愛 (日本大学)	623.8
④ 塩入 朔良 (自衛隊体育学校)	623.6
⑤ 清水 綾乃 (自衛隊体育学校)	621.7
⑥ 中口 遥 (滋賀ダイハツ販売)	620.0

10m Air Pistol 60 (1日目)

① 園田 吉伸 (自衛隊体育学校)	579	21X
② 森川 清司 (広島県警察)	577	17X
③ 堀水宏次郎 (香川県警察)	572	14X
④ 金坂 春杜 (自衛隊体育学校)	567	17X
⑤ 清水 達哉 (岐阜県警察)	562	10X

10m Air Pistol 60W (1日目)

① 折谷 未来 (新潟県警察)	575	16X
② 山田 聡子 (自衛隊体育学校)	572	18X
③ 佐々木千鶴 (岩手県警察)	571	20X
④ 小西ゆかり (飛鳥交通)	570	15X
⑤ 相澤ひかる (警視庁)	566	17X
⑥ 佐藤 明子 (警視庁)	564	5X

10m Air Pistol 60 (2日目)

① 園田 吉伸 (自衛隊体育学校)	583	18X
② 森川 清司 (広島県警察)	578	21X
③ 清水 達哉 (岐阜県警察)	578	20X
④ 堀水宏次郎 (香川県警察)	573	13X
⑤ 金坂 春杜 (自衛隊体育学校)	565	14X

10m Air Pistol 60W (2日目)

① 相澤ひかる (警視庁)	570	14X
② 佐々木千鶴 (岩手県警察)	569	11X
③ 折谷 未来 (新潟県警察)	567	19X
④ 山田 聡子 (自衛隊体育学校)	567	14X
⑤ 小西ゆかり (飛鳥交通)	566	16X
⑥ 佐藤 明子 (警視庁)	565	15X

東京 2020 オリンピック選手指定記録会 (25mピストル)

2021年 2月20日(土)～21日(日) 東京都・NTC イースト射撃場

25m Rapid Fire Pistol 60 (1日目)

①市川 広義 (警視庁)	578	15X
②秋山 輝吉 (宮城県警察)	575	19X
③吉岡 大 (京都府警察)	575	16X
④飯村 嘉一 (警視庁)	570	8X
⑤金坂 春杜 (自衛隊体育学校)	568	15X
⑥森 栄太 (自衛隊体育学校)	564	11X

25m Pistol 60W (1日目)

①山田 聡子 (自衛隊体育学校)	579	14X
②佐藤 明子 (警視庁)	578	14X
③佐々木千鶴 (岩手県警察)	574	16X
④財津 美加 (大分県警察)	574	12X
⑤小西ゆかり (飛鳥交通)	573	24X
⑥北嶋那実子 (CHICKEN WORKS)	567	14X

25m Rapid Fire Pistol 60 (2日目)

①秋山 輝吉 (宮城県警察)	585	20X
②吉岡 大 (京都府警察)	584	23X
③市川 広義 (警視庁)	581	17X
④飯村 嘉一 (警視庁)	581	16X
⑤森 栄太 (自衛隊体育学校)	570	16X
⑥金坂 春杜 (自衛隊体育学校)	565	12X

25m Pistol 60W (2日目)

①佐藤 明子 (警視庁)	581	20X
②財津 美加 (大分県警察)	578	16X
③山田 聡子 (自衛隊体育学校)	578	13X
④小西ゆかり (飛鳥交通)	576	17X
⑤佐々木千鶴 (岩手県警察)	571	16X
⑥北嶋那実子 (CHICKEN WORKS)	560	10X

日本全国へ販売設置を致します。

■Meyton(マイトン)電子標的システム



Meyton電子標的の特徴：

- ・赤外線バリヤを通過した位置を測定
- ・センターは常に一定
- ・測定精度は1/100mm
- ・ワークステーションによる一元管理
- ・1台から利用可能
- ・10m, 50m競技用 (25mは別製品)
- ・測定用消耗品は不要

Meyton(マイトン)電子標的導入射撃場 (順不同)：

新潟県立胎内ライフル射撃場(10m, 50m)、茨城県営ライフル射撃場(10m, 50m)、福井県立ライフル射撃場(10m, 50m)、
 神奈川県立伊勢原ライフル射撃場(10m, 50m)、くりはま花の国エアライフル場(10m)、宮城県ライフル射撃場(10m, 50m)、
 沖縄県ライフル射撃場(10m, 50m)、慶應義塾大学(50m)、中央大学(50m)、日本大学(10m, 50m)、明治大学(10m)、
 その他高校・大学多数導入 ※大阪府能勢町ライフル射撃場(10m, 50m): メンテナンスのみ (國友銃砲火薬店様導入)

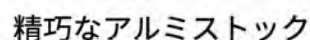
有限会社 三和管財

〒277-0862 千葉県柏市篠籠田1316 TEL: 04-7143-6122 Fax: 04-7147-0745
 Meyton社製品 日本ディストリビューター / Noptel社製品 輸入代理店



ファインベルクバウ

手を伸ばさなくても、とどく。



M2800 ALU

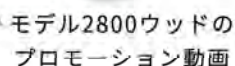
モデル 2800 アルミ

革新的なショートボルトアクション

工具を使わずにボルトの左右切り替えが可能

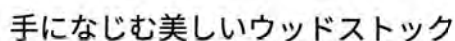
新開発のバレルチューナーを標準装備

人間工学に基づき新設計されたフォアエンドレーサー



公開中！

(YouTubeが開きます)



M2800 W

モデル2800 ウッド



株式会社銀座銃砲店

〒104-0061 東京都中央区銀座6丁目
13番7号(新保ビル2階)
TEL:03(6226)6133 FAX:03(3543)1444
Mail:info@ginzagun.com

<http://www.ginzagun>



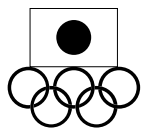
弊社カラーカタログ
はこちらから
ご覧いただけます
◀◀◀◀◀◀◀◀◀

来たとき よりも キレイに!

世界に示す、クリーンジャパン
^^^

KEEP EVERYTHING
MORE BEAUTIFUL
THAN IT WAS.

Show the world, CLEAN JAPAN!



JAPANESE OLYMPIC COMMITTEE
公益財団法人 日本オリンピック委員会



10.9 FOCUSED.
TARGETED.
EXACTLY.

WALTHER

**LG400
MONOTEC**



KK500
PRECISION IN A NEW DIMENSION

POWERED PERFORMANCE.



(公社) 日本ライフル射撃協会オフィシャルサプライヤー

株式会社 **國友銃砲火薬店**

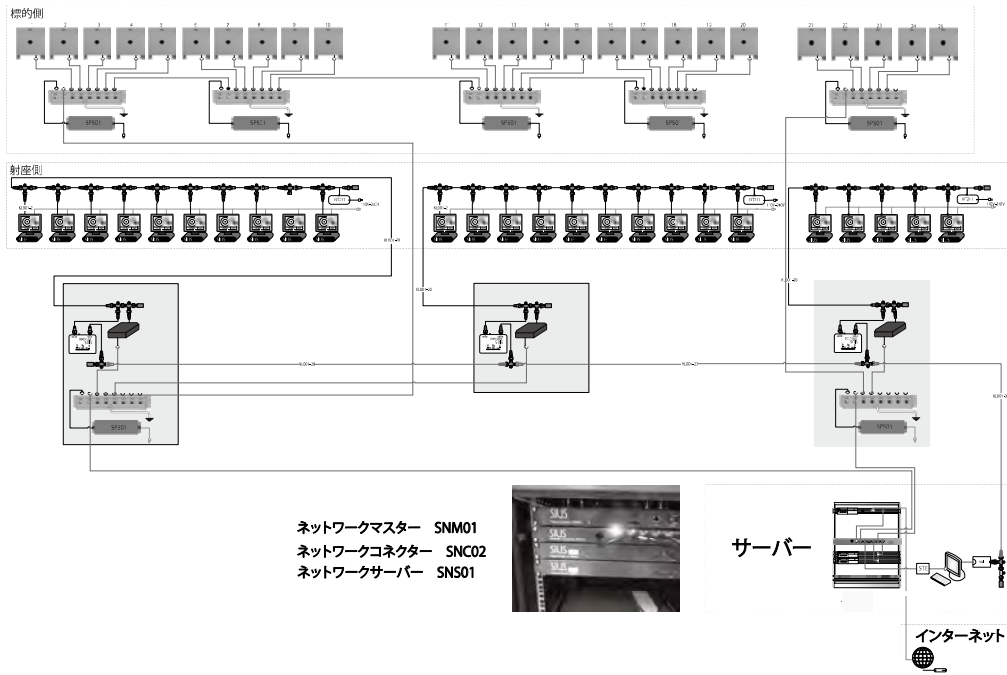
〒600-8032 京都市下京区寺町通仏光寺東入る 國友ビル 3F

ワルサー社・エレー社 日本代理店

TEL(075)351-3037 FAX (075)351-3041

<http://www.kunitomogs.co.jp> E-mail: shooting@zj8.so-net.ne.jp

50m STYX ネットワークシステム



Olympics & Paralympics

SIUS 電子標的が採用されています

- 1992 Barcelona
- 1996 Atlanta
- 2000 Sydney
- 2004 Athens
- 2008 Beijing
- 2012 London
- 2016 Rio de Janeiro
- 2021 Tokyo



リオデジャネイロ五輪 決勝会場

ISSF公認 (Phase III・最高評価の公認)

光学式電子標的・超音波式電子標的

SIUS 社 日本総代理店
日本ビーム株式会社
www.japanbeam.com



ビーム ライフルで射撃スポーツを始めましょう！

BEAM·RIFLE SHOOTING SYSTEM

ビーム・ライフルの特徴

- ビーム・ライフル／ピストルの光源はキセノン管発光で、人体には影響のない安全な光です。
- 標的装置の設置は水銀灯、白熱灯、蛍光灯などを使用する体育館や教室で利用できます。



ビームライフル ジュニア用 型式 MBR-203J

この銃は 3.0 k g と軽量で、全長も小中学生などに合わせた入門者向けのモデルです。
バットプレートは体格に合わせて、前後に調整できます。
専用バッテリー、サイトセット、ハードケースが付属します。



ビーム・ライフル 型式 MBR-201

この銃はチークピースの調整を容易にした、バランサー付の競技者向けのモデルです。

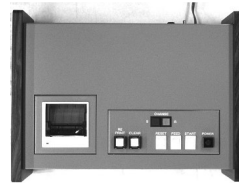
ビームライフル・システム



ターゲット装置
型式 MT-201



ディスプレイ装置
型式 MD-201L



プリンター装置
型式 MP-216

〔 製造・発売元 〕

＝KOTO＝ 興 東 電 子 株 式 会 社

本 社 〒306-0232 茨城県古河市東牛谷 603-2

電話 0280-98-3387 FAX 0280-98-1180

<http://www.kohto.co.jp> E-mail: info@kohto.co.jp

ライフルスポーツ 購入申込方法

◆お申し込みは郵便振替または現金書留で下記の宛先までお願いします。

⇒郵便振替の場合

郵便振替 00140-0-707998 公益社団法人日本ライフル射撃協会

⇒現金書留の場合

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 公益社団法人日本ライフル射撃協会ライスポ担当

◆価格（送料込み）

⇒一部300円、年間1,800円 学生・生徒一部200円、年間1,200円

◆会員への配布

⇒会員については、会費に含まれていますので、自動配布となります。ただし、大学生及び中高生会員への配布は、当協会の規程によります。

⇒会員のご登録住所にお届けしております。ライフルスポーツがお手元に届かない場合は、所属加盟団体へ登録住所のご確認をお願い致します。

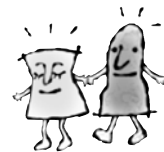
原稿募集します

◆活動状況など

⇒各加盟団体や学校やクラブなど活動の様子を紹介します。

◆エピソードなど

⇒射撃にまつわるおもしろいエピソードなど大歓迎します。



◆協会に対する意見、質問など

⇒会員からの協会に対する直接の意見や質問をお寄せ下さい。なるべく建設的な意見を。

◆投稿規定

⇒A-4に横書き（2段組み、各21文字）でお願いします。データも付けていただくとライスポ掲載に便利です。
※現在紙面の都合で掲載できずにお預かりしている原稿が多数あります。投稿される際は事前にご相談ください。

●発行人 ——— 松丸 喜一郎

●編 集 ——— 総務委員会

●発行所 ——— 公益社団法人日本ライフル射撃協会
(2019年7月より 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
新住所) 電話 03-6721-0792 / FAX 03-6721-0793
E-mail: rifle@japan-sports.or.jp
http://www.riflesports.jp/

●印刷所 ——— 広研印刷株式会社
〒171-0033 東京都豊島区高田 3-3-16
電話 03-3208-8273 / FAX 03-3208-8244

本誌は、スポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています。

「まさか」や「もしも」に、

ALSOK ビーム!



今こそ、うちに。
ALSOK



TOKYO 2020



TOKYO 2020

東京2020オフィシャルパートナー(セキュリティサービス&プランニング)

年中無休 24時間受付



0120-39-2413

サンキュー

ツヨイ

ミカタ



ライフルスポーツ 2021.2

第447号

令和三年三月一日発行 隔月(奇数月)一日発行
昭和五十三年二月二十五日第三種郵便物認可

発行人・松丸喜一郎
発行所・公益社団法人日本ライフル射撃協会

東京都新宿区霞ヶ丘町4-1-2

MIZUNO TRAINING



REACH BEYOND

定価 300 円